

具体的な検討事項について（案）

I. 救急医療情報システムの機能増強について

（例）

- ・ 周産期救急に関する情報の共有及び強化
- ・ 医療機関における応需情報の精度の向上
- ・ 救急現場からの患者情報（バイタル情報、画像情報等）の収集・伝達機能の強化
- ・ 関係医療機関間で応需情報を共有化

II. 周産期救急情報システムの機能増強について

（例）

- ・ 医療機関における応需情報の精度の向上
- ・ かかりつけ医を含む関係医療機関間で応需情報を共有化

III. 各情報システムの運用体制の強化について

（例）

- ・ 各情報システムの統合又は連携の強化
- ・ 医療機関の受入可否を判断する人員の配置
- ・ 患者の状態や医療機関の応需情報から、搬送先医療機関を決めるルールの策定
- ・ 顔が見える人的関係構築
- ・ 情報システム及びその運用などを検証・改善していく体制の整備

IV. 新情報システムによる実証事業で検証が必要な事項について

（例）

- ・ 救急患者の受入が効率化・円滑化したか否か
- ・ 業務負担がかえって増加していないか